

建設現場を訪れて

人材最前線

日本の総人口は2010年をピークに減少に転じている。働き手が不足する中、政府は女性の活用を推進している。建設業界でも、人手不足を解消し、さらには女性の持つ強みを現場で発揮してもらいたい。企業文化の改革に取り組んでいる。建設業界では、女性技術者・技能者を「けんせつ小町」という愛称でPRしている。夏休み真っただ中の今、けんせつ小町が活躍する建設現場に、女子小中学生を招いた見学会が全国で開催中だ。



工事概要を説明する真廣さんと聞き入る参加者たち

「涼しい！」外気温は29度Cだが、地下約20日、東京外環自動車道市川工事の現場見学会に川中工事の現場見学会に参加した8家族22人は、暑い中、現場を見学し、工事現場に興味津々だ。東京外環道は首都圏での交通・物流の円滑化を目的とした高速道。市川中の現場は京成本線が交差する箇所に当たり、鉄道への影響を最小限に抑える工夫がされている。現場は常時700人程度の作業員が働いている。実際の資材に触れる体験も行う。

女子小中学生招き見学会

けんせつ小町 未来につなぐ

ラス型枠と若手育成

向こう側が透けて見えるラス型枠に、コンクリートが流し込まれる。ドロドロ網目からコンクリートが垂れ落ちるのではないかと心配になるが、型枠は見事にコンクリートを保持し続けている。固まったコンクリートは、通常の木枠のように型枠を外す手間なく、次の工程へ進むことができる。廃材が出ないという優れた環境性と効率性。特に建設現場への従事者減少が問題視されている今、人手不足を補う意味でもラス型枠は注目される。その工法と従事する若者を追った。

新工法で人手不足解消へ

埼玉県北東部に位置する加須市。東北自動車道加須ICから3・4キロ離れた地点で、レッドウッドグループが物流施設「レッドウッド加須アイストリビューションセンター」建設に着手した。施工は鴻池組、竣工は2017年1月。ここでは西部入チール(埼玉県ふじみ野市、天野裕之社長、049・267・1181)が協業会社として、ラス型枠技能士を現場投入している。同施設はマルチ用途に転じている。建設現場に減少している。ここ数年は若干持ち直している。入社半年の飯塚さん。オフィス作業よりフィールドワークが好きと語る。



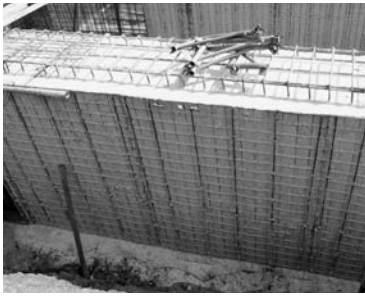
入社半年の飯塚さん。オフィス作業よりフィールドワークが好きと語る。



ラス型枠。この網目が打設されたコンクリートを支える

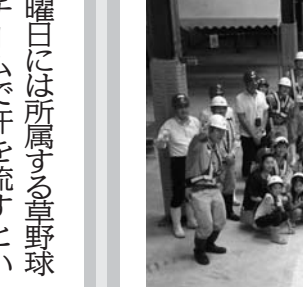
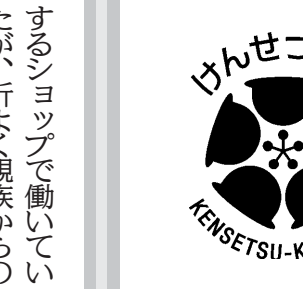


番線と番線カッターで型枠を結束していく



コンクリートが打設された状態。養生後は枠を外す手間なく、次の工程へ移ることができる

するシヨブで働いていて、折よく親族からの紹介もあり、同社に入社した。ラス型枠とは建造物の基礎部分に施工される。作業のほとんどが屋根のないふきさらしだ。夏は直射日光が容赦なく降り注ぐ。従事者には午前と午後、それぞれ15-30分の休憩のほか、現場では施工主が起した全体図面を基に、協業会社などが参加した施工検討会が開かれる。そこで検討された図面から職長が加工帳を作成。加工帳を基に同社現場ではラス型枠を加工し、現場へ搬入する。現場では職長が図面も作成。これは飯塚さんたちが型枠を番線・緊張感が求められる。全ては「安心・安全」が第一の「建設技能」だからだ。



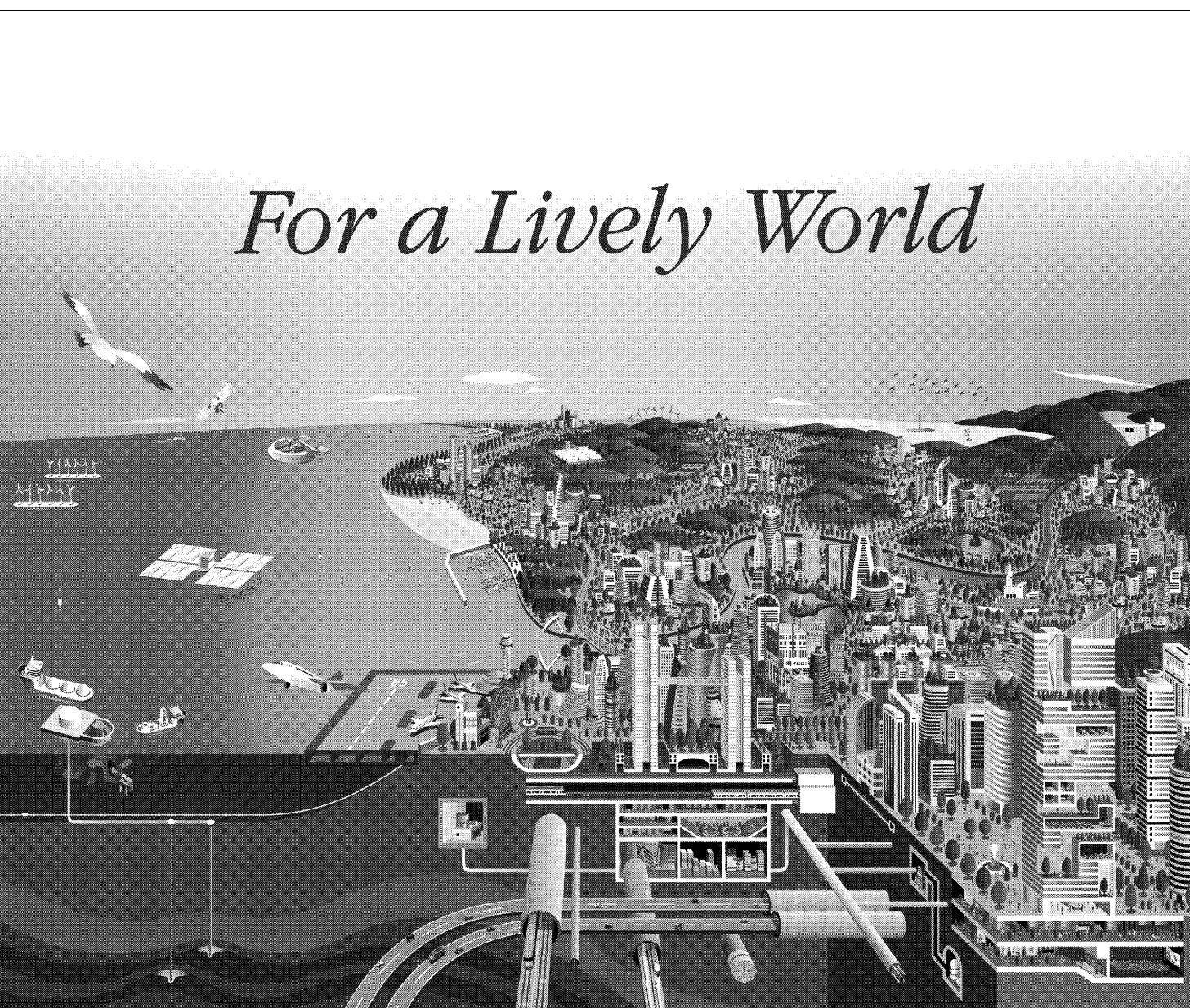
平日には所属する草野球チームで汗を流すという、超アウトドア派。入社して半年が過ぎ、ようやく先輩たちが話す専門用語がわかるようになって、仕事の面白さが実感できてきたとのこと。周囲の先輩たちも、わからないうちは丁寧に教えてくれるなど、環境に恵まれていると話した。現場では施工主が起した全体図面を基に、協業会社などが参加した施工検討会が開かれる。そこで検討された図面から職長が加工帳を作成。加工帳を基に同社現場ではラス型枠を加工し、現場へ搬入する。現場では職長が図面も作成。これは飯塚さんたちが型枠を番線・緊張感が求められる。全ては「安心・安全」が第一の「建設技能」だからだ。



仮設階段が揺れるたびに怖がる子ども。73段を下りれば高速道が開通予定のトンネル内部だ



再びかきませたら、もう学で土木の面白さを知ったが、当時は女性対象の現場見学会は皆無。今の子どもたちがうらやましいと笑う。まだまだ男性ばかりの現場だが、不便はないという。むしろ気を使ってもらっていると感じることも多いそう。奥本現場長は「優秀な女性が増えていくのもっと女性に建設業という職種を選んでほしい。現場でも女性を受け入れる環境・制度整備を徹底し、一緒に仕事をしたい」と意気込んだ。



For a Lively World

わたしたちは「人がいきいきとする環境を創造する」というグループ理念のもと、自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出してきました。For a Lively World...この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高次元の世代へ。わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。地球がいいき、人もいいき。大成建設がめざす未来です。

地図に残る仕事。大成建設株式会社

子どもたちに誇れるしごとを。

目を輝かせて何か没頭していたあの頃から、私たちのものづくりへの気持ちは変わりません。ずっと思い描いてきた夢や情熱を、建造物に込めて未来へ伝えていきます。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設